

No	質問	回答
1	審査会の日程が決まっていたら、予定確保のため教えていただきたいです。	以下の日程および場所での開催を予定しております。 日時：3月26日（木）午後 場所：兵庫県庁内会議室（兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10-1） ※具体的な時間および審査会場については、申請事業者様へ個別にご案内します。
2	本「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」の運営業務の目標感について、様々な要素があるか と思います。 その要素を下記①～⑤に分けたとき、優先度(=比重)が高い順に教えてください。 (※他に要素としてあれば⑤その他にて補足して下さい) ① 市民サービスの向上 ② 県内の課題をこれまででない手段で解決する ③ スタートアップ支援を通して先進事例を作る ④ 県内の好事例を横展開できる事を目指す ⑤ その他	①～③と④の優先順位は、同程度とご認識ください。 なお、令和7年度で本事業は4年目を迎え、実証事例を積み重ねてきたことから、④の強化が、 新たな目標となります。 また、⑤社会課題を新たなビジネスとして捉え、県外から社会起業家を誘引する仕組みづくりを目標 としていますので、県内に拠点を設ける事業者が増える提案は加点評価とします。
3	仕様書にて「次年度の課題募集」とありますが、 現時点、県内の課題はどれほど洗い出せているのでしょうか？ また、どのような課題があるかもいくつか例示していただけますと幸いです。	課題については、3月10日時点で単一枠6課題、複合枠3件の申請を受け付けています。 今後選定を行うため例示することはできませんが、実証に適した課題を採択するため、採択課題数 の2～3倍の応募の中から選定することを想定しています。
4	昨年度運営業務を委託したからこそ見えてきた、 次の課題(=今年改善したいこと)や、御庁としての見解(=反省部分)を教えてください。	県事務局としては、過去実証成果の横展開に年度の早い段階で取り組み、自治体における次年度 予算要求に繋がりたいと考えています。
5	課題選定の軸(課題の適合性/新規性/共通性)の比重はどのようにお考えでしょうか？ また、新規性のレベル感を知りたいです。(「県内での事例が無い」なのか「全国的に事例が無い」 なのか。)	課題の性質により異なりますが、原則、いずれの軸も一定の水準を満たすものを採択します。 例えば、新規性が極めて高いものの、共通性が低く全国自治体への横展開が期待できない課題 などは、採択が難しくなります。 また、新規性としては、「同様の取組みが全国的に事例がない(類似の取組はあっても、同じ取り 組みではない)」ものを想定しております。
6	既存のWebページや、エントリーした(落選した)企業情報等の昨年度の情報はどれほど引き 継げるのでしょうか？	業務引き継ぎに伴うシステム移行等に必要となる構成要素(ページやコンテンツ等)、その他業務 引き継ぎに必要な過年度の作成物(過去にエントリーした(落選した)企業情報含む)を提供い たします。 提供あたっては、セキュリティを担保した方法で速やかに行います。
7	このプロジェクトに対し、県庁職員は何人ほどアサインされていますか？ 一緒に行動できる場合は、割ける工数感知りたいです。	事務局として業務に従事する県庁職員は2名(他事業との兼務)です。 個別の実証実験には市町等の課題提案課職員(体制は課題により異なる)が参画し、スタート アップ等と協働して取組みます。
8	仕様書 イ 課題解決策提案事業者の公募・選定(エ)について こちらの内容に付随し、これまでの同事業で使用されていた、下記のHPがあるかと思いますが、 こちらの引継ぎは必要でしょうか？新設でのHP作成をしても問題無いでしょうか？ https://hyogo-tech.jp/	新設のHPを作成いただいても問題ありません。ただし、過去の実証(令和4年～令和6年の実 証内容および成果)について、県から提供されるコンテンツを掲載いただくようお願いいたします。

No	質問	回答
9	仕様書 ウ 実証実験の実施支援（オ）について 実証実験等支援金申請とありますが、次年度どのような補助金の申請が想定されますでしょうか？	県から課題解決事業者に対して、下記の実証支援補助を想定しています。 【実証支援内容】 ・実証にかかるプロジェクト経費の補助（人件費、事業費など） 1件あたり税込みで最大500千円（1/2補助） 例）対象経費が1,000千円の場合、補助支給額は500千円。対象費用が800千円の場合、補助支給額は400千円。
10	仕様書 ウ 実証実験の実施支援（キ）について 県内市町向けマッチングお披露目会（令和7年8月ごろ）、実証実験の進捗及び見通しを内容とする県内市町向け中間報告会（令和7年11月ごろ）、最終報告会（令和8年3月ごろ）、 はそれぞれ発表の対象は基礎自治体職員になりますでしょうか？外部の民間企業者も含まれますでしょうか？	各会での登壇者及び聴衆は、以下を想定しています。 （マッチングお披露目会or中間報告会） ・ 登壇・・・課題提出市町、R7年度採択事業者 ・ 聴衆・・・後年度、本事業活用を検討する市町、メディア、金融機関 （成果報告会） ・ 登壇・・・課題提出市町、R7年度採択事業者 ・ 聴衆・・・横展開先として想定される団体及び企業（県内自治体、県外自治体、県内民間事業者、県外民間事業者）、メディア、金融機関等 なお、マッチングお披露目会（令和7年8月ごろ）、中間報告会（令和7年11月ごろ）はどちらか一方の開催を想定しています。
11	仕様書 オ 当事業で得られた成果の横展開への支援 について 県内自治体向けのイベントについては、上記のマッチングお披露目会と同時での開催をすることは可能でしょうか？別での開催が望ましいでしょうか？ また、支援対象企業がこれまでの成果を有している企業になるかと思いますが、過去応募者は何社程度いますでしょうか？また、支援を希望する企業が30社を下回る場合、仕様書に定めのある、兵庫県内に拠点を有する企業であれば新規での追加は可能でしょうか？	同日に開催することは問題ありません。ただし、県内自治体への横展開については、可能な限り導入に当たり決裁権限を有する者（課長級、係長級等）の集客を求めます。 令和6年度の横展開支援においては、過年度（令和4、5年度）の採択事業者15社のうち11社から横展開支援の希望があり、展示会やピッチイベントで実証結果のPRおよび商談の場を設定しました。 支援を希望する過去採択事業者が30社を下回る場合に、兵庫県内に拠点を有する企業を追加することについてですが、過年度採択事業者のPR効果を低下させないこと、過年度採択事業者との差異を設けること、社会課題解決型の事業者であること等を条件に可としますが、まずは提案いただき採択後の相談事項とします。
12	県外自治体、県外民間企業を対象にした横展開支援は、兵庫県内で実施する必要があるか。	原則、兵庫県外でのリアル開催を想定しています。ただし、リアル開催よりも横展開の効果が見込めるのであれば、オンライン開催も可とします。
13	横展開支援のイベントを実施する際、独自のイベントを立ち上げる必要がありますか。それとも弊社が運営する展示会等のイベントを活用することは可能でしょうか。	横展開の効果が見込めるのであれば、御社が運営するイベントや展示会等を活用することは可としますが、まずは提案いただき、採択後の相談事項とします。
14	最低13課題と応募者をマッチングさせるとありますが、市町からの課題申請数が少ない、実証に適した課題が少ない等を理由に、13課題に満たない場合はどうすべきでしょうか、その場合を想定し「起業家のソリューションを県内市町に紹介し課題解決に取り組む」などの提案も追加提案してもいいでしょうか。	可とします。
15	応募図書について、メールでの提出は可能でしょうか。	公募実施要領の記載のとおり、原則としてメールでご提出ください。 メール提出の場合、別途応募図書の正本、副本を提出いただく必要はありません。 【公募実施要領より抜粋】 5 企画提案に係る手続 (1) 募集期間及び応募図書の提出 イ 提出方法 応募図書は、令和7年3月19日（水）午後5時30分までに、原則として事務局メールアドレスに提出すること。なお、メールアドレスに送信後、電話等により事務局に連絡すること。郵送による場合には、あらかじめ電話等により事務局に連絡したうえで、令和7年3月19日（水）午後5時30分までに事務局に到着するように提出すること。